

# 2017年度（2018年3月期） 第1四半期決算 説明

 株式会社 日立物流

## I. 2017年度第1四半期決算の概要

全体概要、グループ別、売上収益・営業利益増減内訳、  
海外地域別、受注・立上状況、2017年度計画について、  
スマートロジスティクス、協創プロジェクト

## II. トピックス

- \* 本社移転
- \* ブランドプロミス

(単位：億円、端数四捨五入、< >内は利益率(%))

	2016年度		2017年度		
	第1四半期		第1四半期		
	実績	実績	前年同期比		
			比率	増減	
売上収益	1,605	<b>1,689</b>	105%	84	
営業利益	<4.2> 67.2	<b>&lt;3.9&gt; 65.6</b>	98%	-1.6	
EBIT (受取利息及び支払利息 調整後税引前四半期利益)	<4.1> 65.1	<b>&lt;4.7&gt; 79.3</b>	122%	14.2	
親会社株主に帰属する 四半期利益	<2.0> 32.9	<b>&lt;2.8&gt; 47.8</b>	146%	15.0	

※本資料中の営業利益は、「調整後営業利益」を記載

( 単位 : 億円、端数四捨五入、< >内は構成比(%)、( )内は増減差 )

		売上収益			営業利益		
		第1四半期	前年同期比	第1四半期	前年同期比		
オーガニック	国内物流	<58>	851	102%	44.1	93%	
	国際物流	海外	<30>	435	113%	12.3	94%
		フォワーディング他	<8>	118	102%	【1.4】✓ 0.8	【147%】 85%
	計	<38>	553	111%	13.1	94%	
	その他(物流周辺事業等)	<3>	51	108%	3.7	246%	
計		<100>	1,454	105%	60.9	97%	
バンテックグループ	国内物流	<65>	172	100%	【6.9】✓ 6.0	【141%】 122%	
	国際物流	海外	<35>	91	122%	1.4	68%
		フォワーディング他	<0>	0	73%	0.0	-
	計	<35>	92	121%	1.4	68%	
計		<100>	264	107%	7.4	106%	
連結消去・バンテック顧客関連資産償却等		-	-30	(-7)	-2.6	-	
合計	国内物流	<60>	1,016	102%	47.9	95%	
	国際物流	海外	<30>	513	114%	13.2	91%
		フォワーディング他	<7>	110	100%	0.8	85%
	計	<37>	623	111%	14.0	90%	
その他(物流周辺事業等)		<3>	49	107%	3.7	246%	
計		<100>	1,689	105%	65.6	98%	

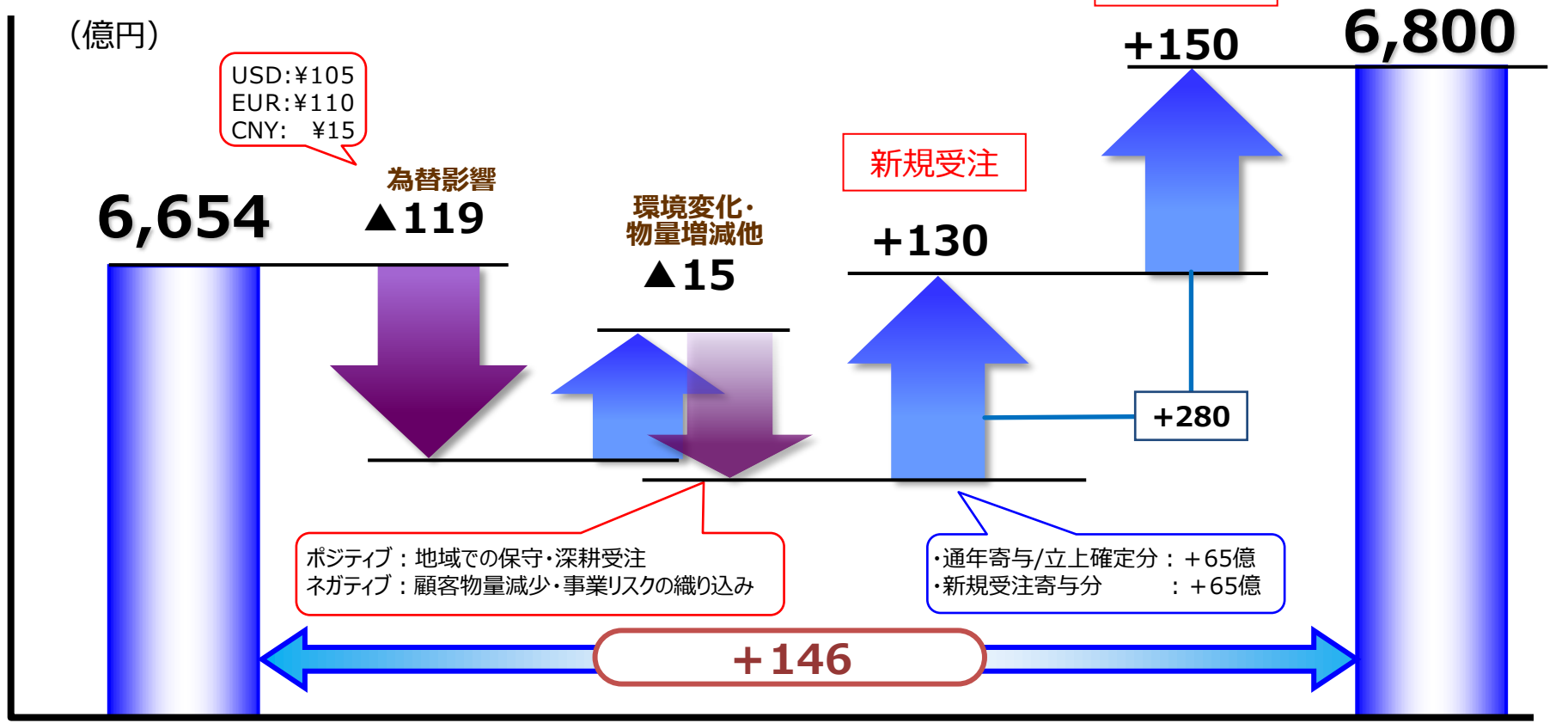
✓ 2017年度より全社費用の配分方法を一部変更。【 】内は、前年ベースの数値および比率

2017年4月27日：決算発表資料より

## 売上収益 (計画)

(億円)

USD: ¥105  
EUR: ¥110  
CNY: ¥15



ポジティブ：地域での保守・深耕受注  
ネガティブ：顧客物量減少・事業リスクの織り込み

・通年寄与/立上確定分：+65億  
・新規受注寄与分：+65億

2016年度 (実績)

2017年度 (計画)

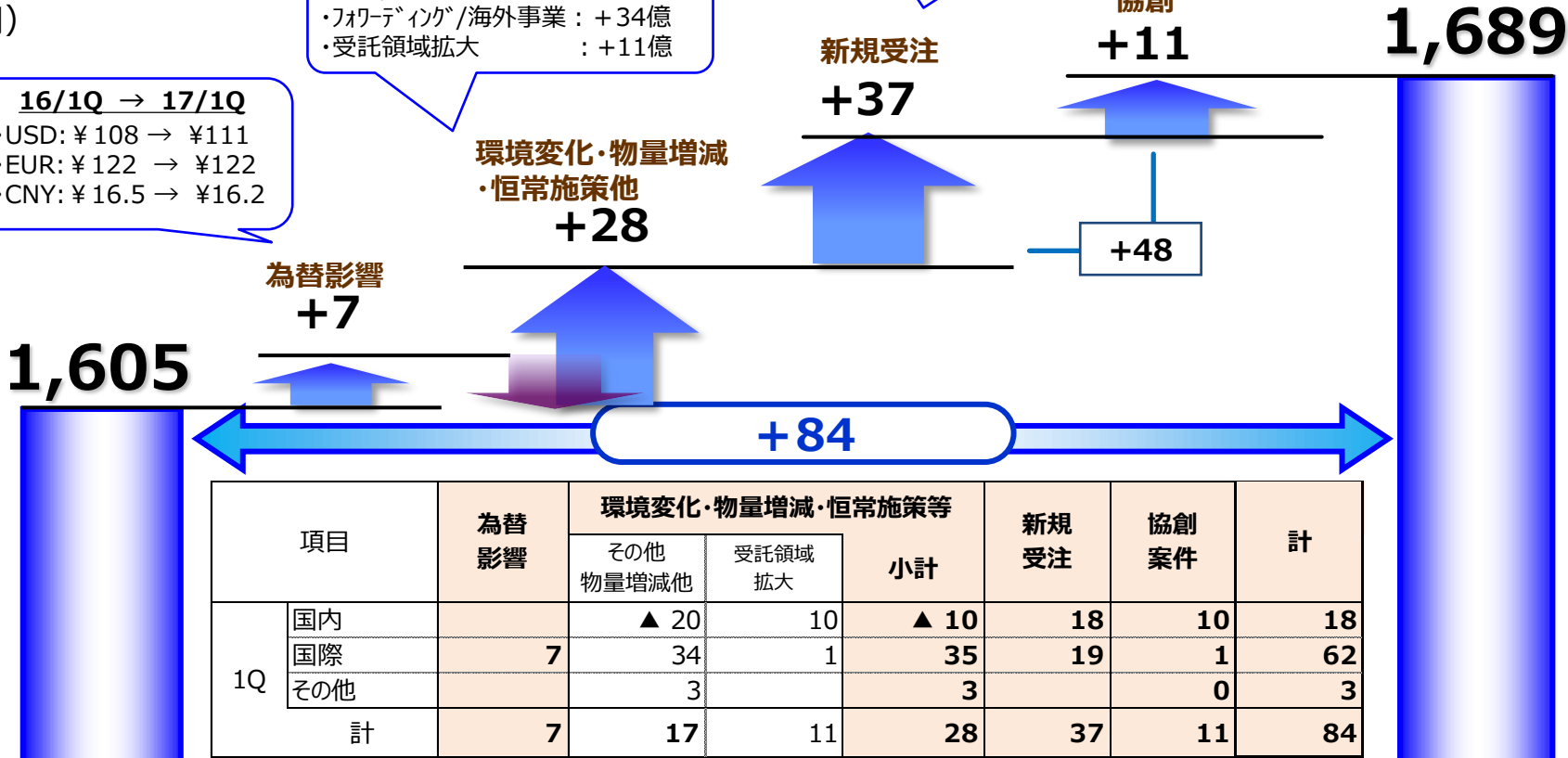
**第1四半期  
売上収益実績**

(億円)

16/1Q → 17/1Q  
 ・USD: ¥108 → ¥111  
 ・EUR: ¥122 → ¥122  
 ・CNY: ¥16.5 → ¥16.2

・国内/その他事業 : ▲17億  
 ・フォーディング®/海外事業 : +34億  
 ・受託領域拡大 : +11億

国内 : +18億  
 国際 : +19億



項目	為替影響	環境変化・物量増減・恒常施策等			新規受注	協創案件	計
		その他物量増減他	受託領域拡大	小計			
1Q	国内	▲20	10	▲10	18	10	18
	国際	7	34	35	19	1	62
	その他		3	3		0	3
計	7	17	11	28	37	11	84

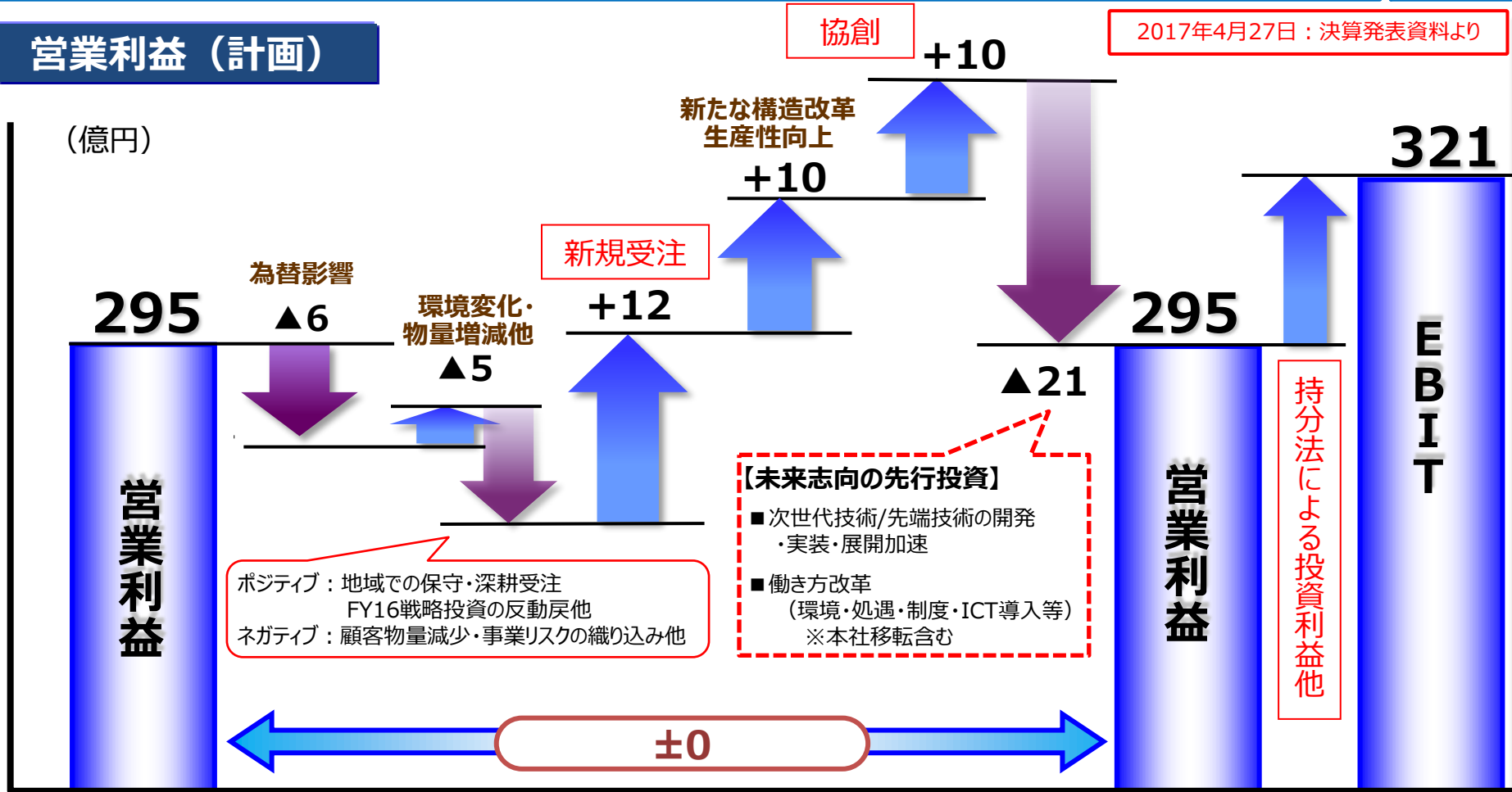
2016年度 1 Q(実績)

2017年度 1 Q(実績)

2017年4月27日：決算発表資料より

## 営業利益 (計画)

(億円)



ポジティブ：地域での保守・深耕受注  
FY16戦略投資の反動戻他  
ネガティブ：顧客物量減少・事業リスクの織り込み他

【未来志向の先行投資】

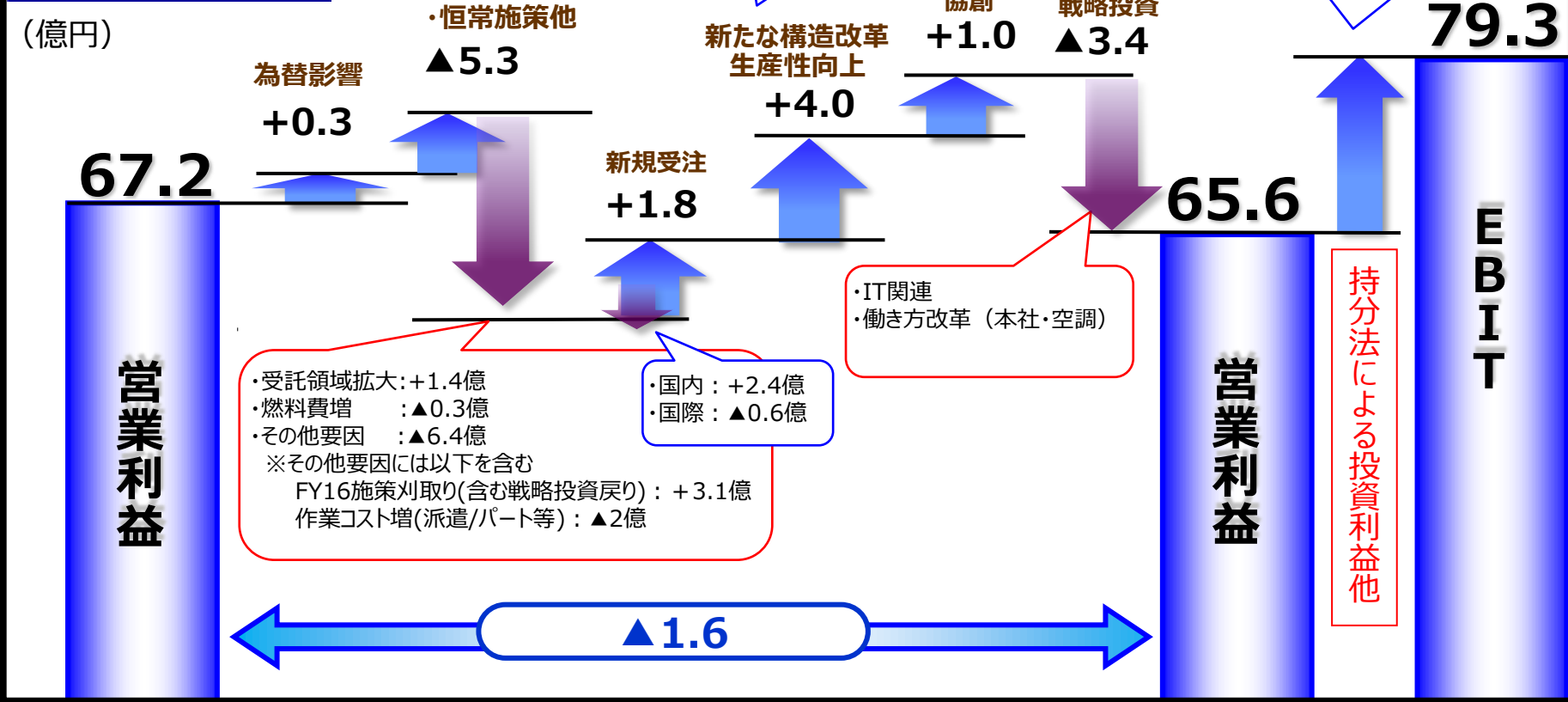
- 次世代技術/先端技術の開発  
・実装・展開加速
- 働き方改革  
(環境・処遇・制度・ICT導入等)  
※本社移転含む

持分法による投資利益他

2016年度 (実績)

2017年度 (計画)

**第1四半期  
営業利益実績**

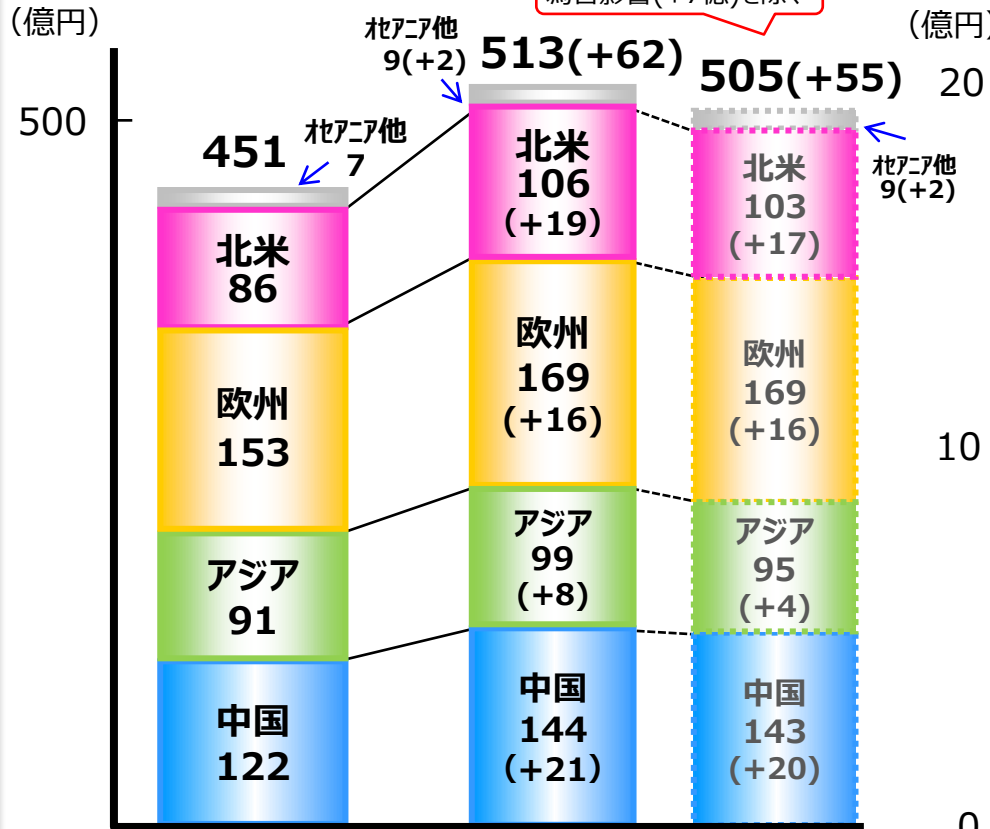


2016年度 1 Q(実績)

2017年度 1 Q(実績)



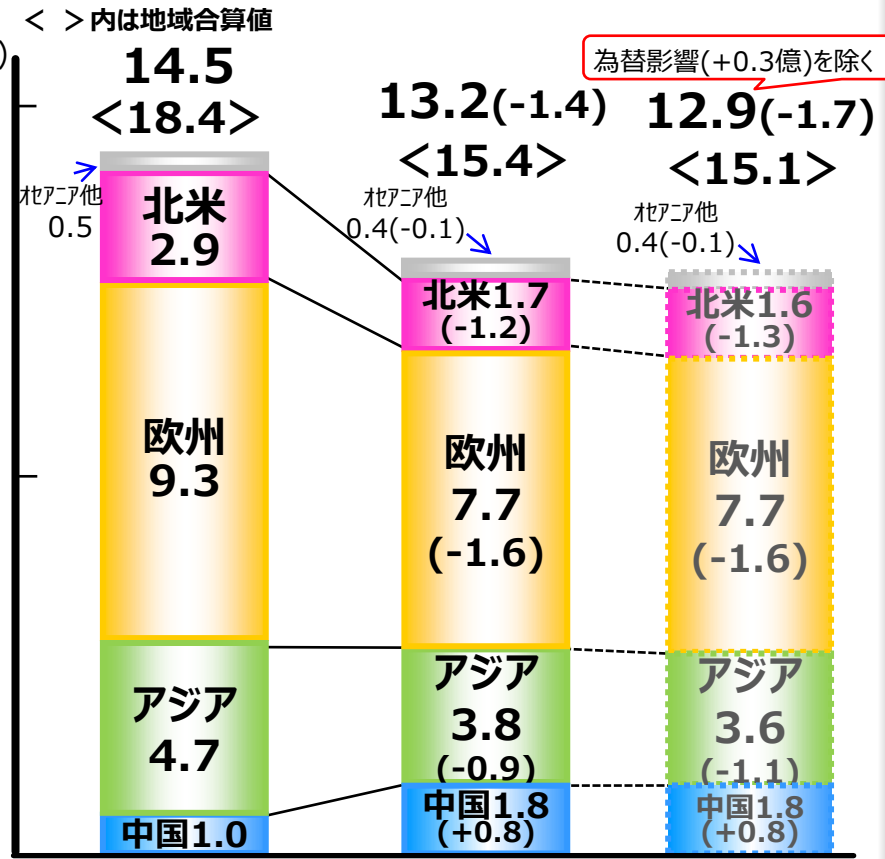
## 売上収益



2016.1Q(実績)

2017.1Q(実績)

## 営業利益



2016.1Q(実績)

2017.1Q(実績)

## 2017年度1Q：受注・立上状況

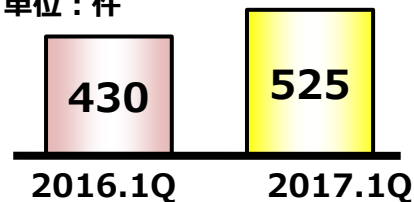
単位：件

		2016年度	2017年度	
		第1四半期	第1四半期	前年同期増減
立上	国内	4	1	-3
	国際	1	1	0
	計	5	2	-3
受注	国内	1	2	1
	国際	1	4	3
	計	2	6	4

(参考) 国内本部受注件数の推移 <新旧定義・単発案件(重量機工等)・小規模案件含む>

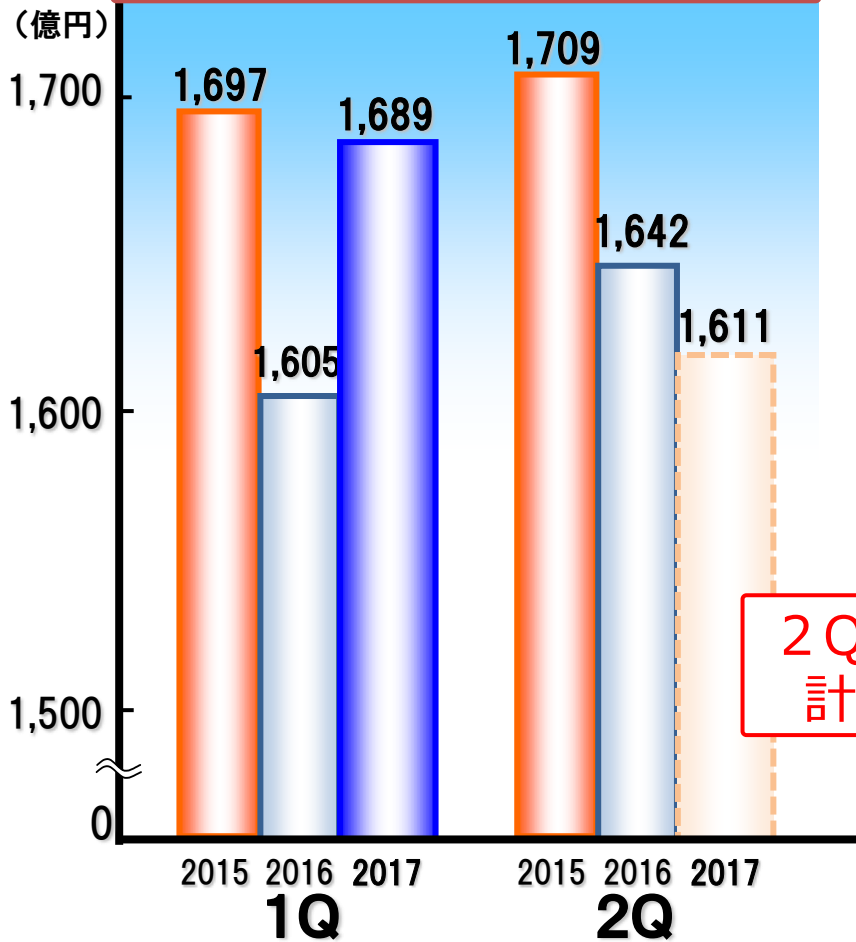
**\* 地域密着営業の強化により、地域における案件獲得は着実に進展**

単位：件

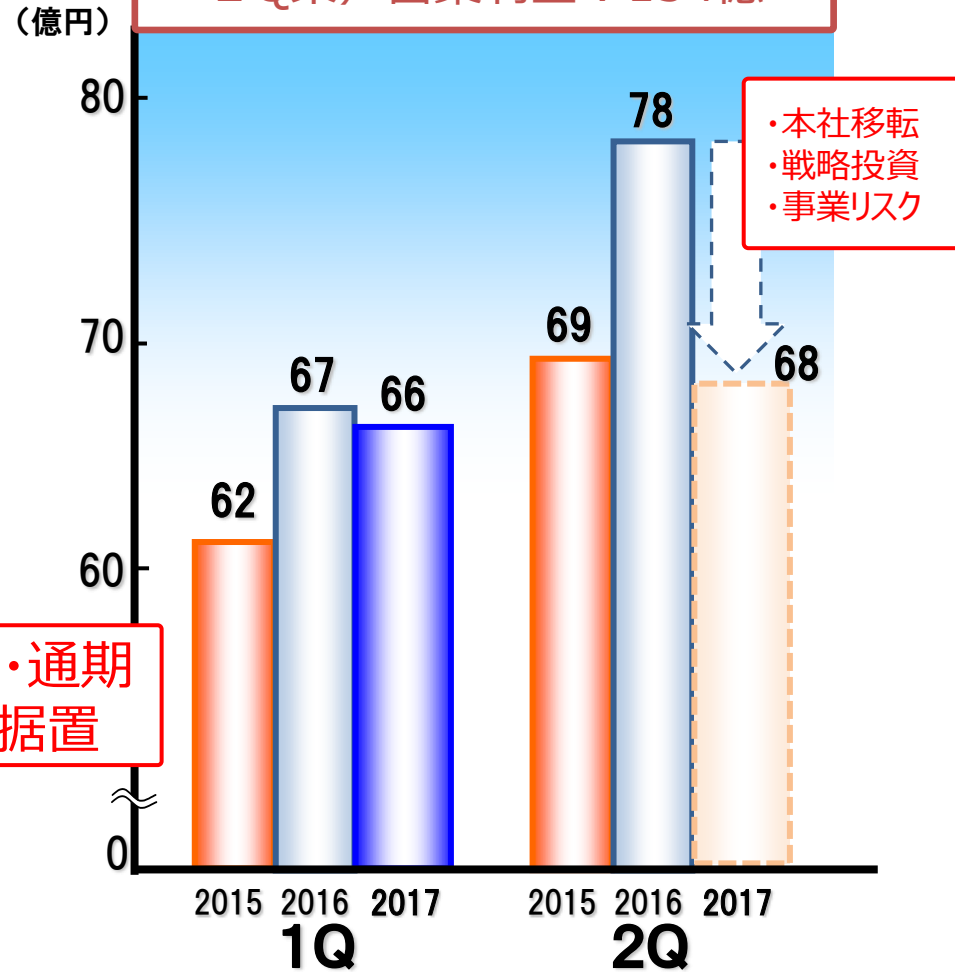

**2016.1Q**
**2017.1Q**

- ・10M¥未満案件：427件(継続:35件 単発:392件)→523件(継続:80件 単発:443件)
- ・10M¥以上案件：3件(継続:3件 単発:0件)→2件(継続:1件 単発:1件)

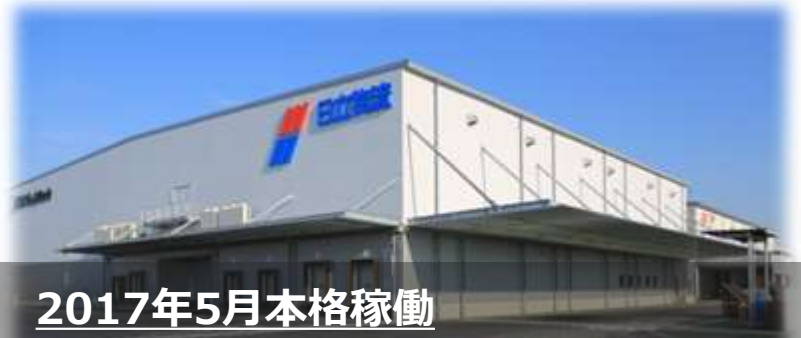
2 Q累) 売上収益：3,300億



2 Q累) 営業利益：134億



## Racrew導入拠点の拡充



**2017年5月本格稼働**

場 所：土浦2期物流センター

取扱い：医薬品



**Racrew※を中心に前後の搬送作業を自動化し、一気通貫での省人化を実現**

※「Racrew」は（株）日立製作所の日本国内の登録商標です。

## 無人フォークのトライアル導入(2拠点、3台)

**2017年6月**

場 所：埼玉県内の物流センター

取扱い：医薬品 導入数：1台

活 用：入庫品オートレータ⇒荷揃エリア搬送  
(日中作業)

**2017年7月**

場 所：茨城県内の物流センター

取扱い：建設機械パーツ 導入数：2台

活 用：空箱を1F⇒2Fへ返却搬送  
(夜間無人作業)

**2017/1Q実績：売上収益：11億円 営業利益：1億円（9.4%）**

## ◆具体的な案件事例（機工・移転案件）

### 都市再開発向けファシリティサービスの提供（2017年6月～7月）

当社グループとSgHグループのノウハウを組み合わせ、複合施設への館内搬入を実施

搬入作業  
(什器類)

×

館内物流  
(商品)

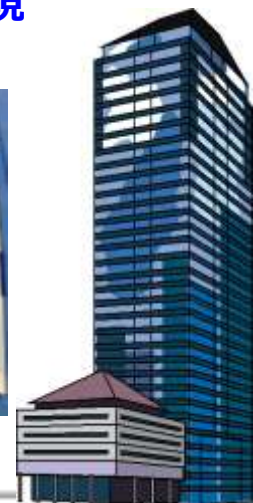
「館内一貫体制」で安全・高品質な搬入、施設保全を実現



全体朝礼の様子

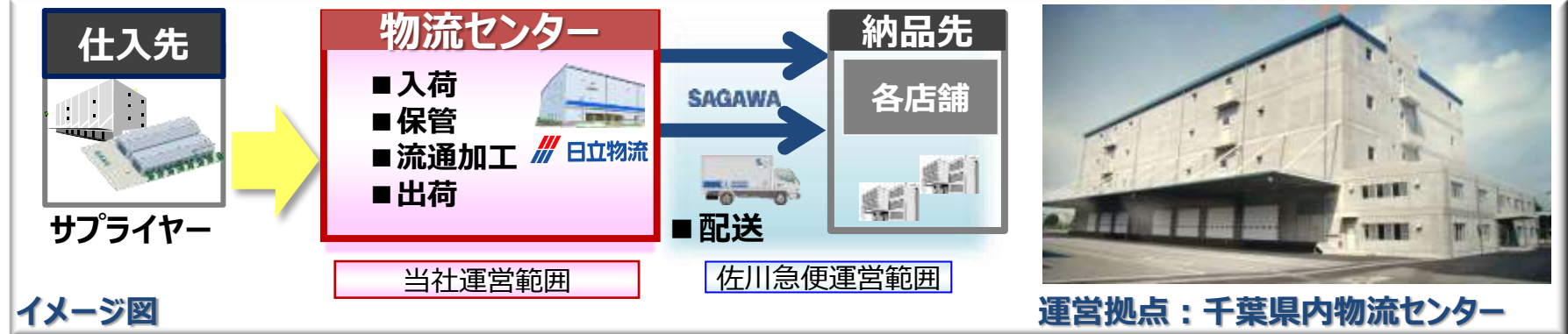


作業風景



## ◆ 具体的な案件事例（3 PL案件）

### アパレル関連の物流センター運営を本格稼働（2017年5月～）



### 新規受注 (抜粋)

#### SNS関連

- \* 概要：当社：海外調達、倉庫運営  
SgH：配送、修理品回収
- \* 時期：2017年12月稼働

#### 出版業界

- \* 概要：当社：倉庫運営  
SgH：配送
- \* 時期：2018年5月稼働

## ◆ 本社移転のお知らせ

- ・移転先：東京都中央区京橋二丁目9番2号  
(日立物流ビル)
- ・移転時期：2017年8月16日

### 【本社移転のコンセプト】

フレキシビリティ

協創

生産性向上

### 新本社の重点施策

フリーアドレス

ユニファイド  
コミュニケーション

ペーパー  
ストックレス



一棟借り (1Fのテナントを除く)



2F受付イメージ

## ◆ 日立物流ブランドの強化

### i. ブランドプロミス制定

「スローガン：未知に挑む。」

### ii. 各種媒体への掲出を推進

2017年8月よりブランド広告の掲出予定

### iii. 会社案内リニューアル

#### 【リニューアルコンセプト】

- ・ シンプルな体裁
- ・ Webサイトとのリンク（主体はWebサイト）
- ・ 統一したブランドイメージの構築

### 【ブランド広告】



HITACHI  
Inspire the Next

大きく変化する世界の中で、  
常に先を見つめて、道を切りひらき、  
社会に新しい活力を届けていきたい。  
私たちは、お客様と真摯に向き合い、  
最善を尽くし、共に未来を協創する。  
これからのテクノロジーを  
新しいソリューションの力にする。  
一人ひとりの人間力を大切にして、  
ひとつになって動きつづける。  
私たちはこれまでの  
ロジスティクスの領域を超えて、  
ビジネスと生活に  
新しい未来を実現していく。

# 未知に挑む。

 日立物流